

教育情報に関する連絡表

【 教育情報提供者記入欄 】		情報提供年月日	平成28年10月20日	
情報提供者等	(フリガナ) 氏名		性 別	<input checked="" type="checkbox"/> ① 男性 <input type="checkbox"/> ② 女性
	住所	岐阜県 白川市・ <input type="checkbox"/> 町・村 (郡名は記入しない。)		
	年齢	<input type="checkbox"/> ① 20歳代 <input type="checkbox"/> ② 30歳代 <input type="checkbox"/> ③ 40歳代 <input type="checkbox"/> ④ 50歳代 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 60歳代		
	情報の種類	<input type="checkbox"/> ① <input checked="" type="checkbox"/> 意見 <input type="checkbox"/> ② 要望 <input type="checkbox"/> ③ 情報提供 <input type="checkbox"/> ④ 質問		
	回答の希望	<input type="checkbox"/> ① 教育委員会の回答を希望 <input checked="" type="checkbox"/> ② 教育情報のみで回答は不要		
情報のテーマ	(1テーマにつき、1枚の連絡表をご使用ください。) 教職員の長時間労働の是正 (部活動運営の適正化)			
<p>富山市議会議員の政務活動費の私的流用が公になって間もなく、岐阜市議会議員のニュースが耳に入りました。県内中学校の部活動に半ばボランティアに近い勤務で「全員顧問」的な職場環境に於いて指導をしている教職員を思うと、いかにも情け無い議員の不祥事(犯罪)です。県議会その他行政関係に同様な事案が出ないことを願うばかりです。また、県の政務活動費公開に必要とされる費用は、他県と比較するとかなり多額になるらしいとのこと、事実とすれば、「情報公開、県政見える化」に対して大きなマイナス要因ではないでしょうか。</p> <p>さて、働き方改革、長時間労働の是正など国をあげて議論されている昨今、県下の中学校教職員の部活動指導等に関わる業務改善の必要性を強く感じます。今後何年かかると思われる教員数の年齢別不均衡の是正、初任や若手教員の育成、中堅教員・リーダー職の育成など学校教育の課題は多いように感じます。なかなか精選されない行事や多くの職務内容を抱える教職員の資質能力の向上を充実させるためにも、「確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育」を第一の基本目標にしている本県であればこそ、児童・生徒の将来のために、<u>学校の指導体制の充実と教職員の長時間労働の是正を図ることは、優先順位の高い事柄だ</u>と思います。教師が子どもたちと向き合える時間、指導内容のための検討時間の確保は、魅力ある授業づくり・確かな学力の育成につながるものと期待できます。</p> <p>さらには、休養日の設定を増加させることで、地域社会の様々な催しや行事に教師も子どもも地域コミュニティの一員として戻ってくる機会が増すのではないのでしょうか。家庭・地域・職場等で豊かな人間関係を築く上で、教師や子どもたちにとって今こそ必要な環境整備の一つと考えます。</p> <p>平成9年度に文科省の調査研究報告書で運動部における休養日等の設定例(中学校の運動部活動では週当たり2日以上、高等学校の運動部では週当たり1日以上)が示されましたが、実効性は定かではありません。やはり、<u>全県的な視野で教育委員会や校長会などでのリーダーシップ(指導徹底)が欠かせない</u>のではないかと思います。文書通達主流で教育環境の改善がなかなか進まない現状を気にかけて情報提供をさせて頂きました。</p>				